

七沢希望の丘 初等学校新聞

巻頭言

「地域との共生」

校長 島根照夫

私はこの4月からJA玉川の農業スクールで学んでいます。そこで交わされるたわいのない会話の中に農業を楽しむ風景が現れています。指導員の話に私は「ああなるほど、そうなっているのか。」と感心させられる話にも、すでに農業経験のある人にとっては「それぞれの家のやり方があるからさ。」「農業は道楽。」など和気藹々の会話が弾みます。

地域に根ざした教育に携わるとき、地域で人が生きている空間、つまり生活空間で、歴史性に自分の帰属意識をどのように持つかが大切ではないでしょうか。その意識をどのように醸成するか、そこをもう一度見直す教育の必要性が問われています。地域を抜きにして世界の存在はあり得ないのです。世界に目を向けたグローバル教育と同時に、日本人の知恵として伝わっている文化を学ぶ・体験するローカル教育も重要ではないでしょうか。ここで言う知恵とは共生のことです。地域の中で異質な背景や文化を持った人たちがどうやって共生しているのか。その共生の作法を学ぶことこそ大切な教育ではないでしょうか。かつて日本人は、海外に目を向け海外から新しい文化を吸収してきました。今は、日本文化が見直されてきています。だからこそ、これから生きていく力を身につける子どもたちに、日本人の知恵、つまり共生の仕方を教えたいのです。残念ながら都会の生活では、なかなか学びにくくなっています。でも、この七沢の里山には共生の良き文化が残っています。この作法を身につけ、知ること、土足で人のテリトリーに踏み込むことが少なくなるのではないのでしょうか。悪気なく、知らないために土足で上がり込むようなことをしていないのでしょうか。自然に出るおもてなしの心こそ身につけさせたい日本人の作法です。



希望の丘に立つ初等学校の学舎

発行者／学校法人内田学園
七沢希望の丘初等学校

発行日／平成26年7月吉日



島根照夫 校長

目次

特集記事

巻頭言／「地域との共生」

1 ジャガイモの学習

- ・ 植え付け、
- ・ 生育
- ・ 観察、
- ・ 収穫、
- ・ 調理、
- ・ デンプン採取、
- ・ 販売

1. ジャガイモの学習

今回は学校農園で育てたジャガイモの学習の流れをまとめてみました。

『ジャガイモを植える作業』



1. キタアカリ、ダンシャク



2. メークイン



3. 有機肥料を蒔いて



4. 種芋を二つに切って



5. 切り口に灰をつけて



6. マルチシートをかけて

2. 成長の様子



1. 芽が出てきて育っているね



2. 草取りをして



3. 立派に育っているね



4. 畑のそばの有機肥料をかき出して



5. 一輪車の使い方も上手になって

3. 観察



1. 土寄せをして



2. 芽欠きをして



3. 花のつき具合、色や形は

『収穫』



1. こんなかわいい形



2. ごろごろとれるね



3. やったあ



4. よいしょ、よいしょ



二人で力を合わせて



5. 青山学院短期大学の学生さんと

『食する』

収穫後、「くらし」の学習で、じゃがいもの料理を子どもたちから募集しました。ポテトチップス、肉じゃがの他に、デンプンを使ったオレンジプリンを作りました。



1. 子どもたちの発想からポテトチップス作り、薄く切り



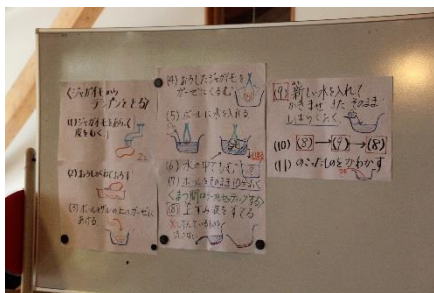
2. 油でさっと揚げ



3. 肉じゃが作り、包丁さばきもうまくなって



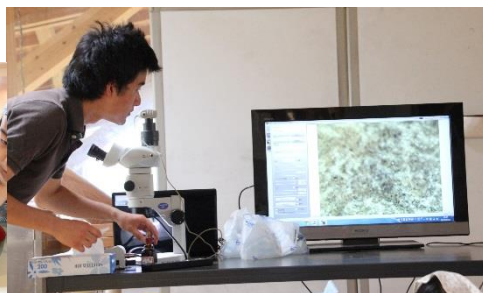
良い味に仕上がっているね



4. デンプン採取の手順



5. ジャガイモすって



6. デンプンの様子確かめて

4.販売

J A 玉川の協力を得て、生産地玉川、生産者希望の丘中等学校のシールを貼ることができました。販売を通して流通価格などの学習をします。



生産者シールを貼って



店頭並べます

学校法人内田学園 七沢希望の丘中等学校

□住所 / 〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 433-1

□電話番号 / 046-270-6123

□FAX 番号 / 046-270-6122

□ホームページ <http://www.nanasawa-kibou.jp>

□E-Mail nanasawa@nanasawa-kibou.jp

交通アクセス <電車・バスを利用の場合>

□小田急線愛甲石田駅下車。神奈川県中央交通バス七沢温泉行き約20分。日向川バス停下車、徒歩10分（小田急線本厚木駅・伊勢原駅からもバスは出ています。）

自動車を利用の場合

□国道246号線森の里入り口から七沢方面へ約15分